

予算特別委員会

議員21名（全議員のうち正副議長、予算の代表質問を行った議員、けが療養のため欠席の議員を除く）を委員として、5日間にわたって審査を行いました。平成29年度一般会計予算、特別会計国民健康保険事業予算を賛成多数で、その他の特別会計予算については全会一致で可決すべきものと決しました。



梅田 春生
委員長

予算に関連して付託された条例5件については、4件は全会一致で、1件は賛成多数で全て可決すべきものと決しました。

◆予算特別委員会委員◆

◎…委員長 ○…副委員長

◎梅田 春生	松本 まき	松本あきひろ	稲橋 ゆみ子
○安東 太郎	瀬 順弘	木原 宏	上條 彰一
○山本みちよ	大沢 純一	高口 靖彦	大沢 豊
中町 聡	門倉 正子	大石ふみお	中山ひと美
若木 早苗	江口 元気	伊藤 大輔	須崎 八朗
谷山きょう子			

生活保護世帯の高校・大学の進学率について 進学率調査も貧困の連鎖を断ち切る一つの方策

大沢 純一（公明党）



問 都の統計では、本市の高校進学率は95%程度、大学が47%程度です。一方、生活保護世帯の進学率は、高校が80%から90%強、大学は18.5%から25%で、市の平均からしても低い状況です。経済的な要因で進学をあきらめている状況があるのではと推察します。一番大事なのは、この貧困の連鎖を断ち切ることであり、そのためにまず実態を調査し、教育、そして福祉の中でどういうことができるのかを早急に考えていくことが必要です。

答 今回初めて生活保護世帯の高校・大学進学率調査を行いました。生活保護世帯で大学に行く、原則その方は生活保護世帯から分離となりますが、それでも学業という方もいますし、一方就労する方もいます。大学進学については、生活保護世帯は社会福祉協議会の受給生チャレンジ支援貸付制度の対象となっていないが、貧困の連鎖を断ち切ることを主眼に置きながら、今回の実態調査の分析を進めていきたいと考えています。

ファールアートの発信と観光地としての展開は PR動画やガイドアプリでシティプロモーションを

松本 まき（民進党・市民フォーラム）



問 市長が予算方針で掲げる「ハート面からソフト面への転換」の中心施策のひとつがファールアートです。今後どのような戦略で、外国人に発信し、新たな観光地として展開していくのでしょうか。また、今年2度ほど市民の大切な財産であるアートに落書きされる事件が起きました。こうしたアートを毀損する行為には、強固な対策が必要と考えますが、今までのような対策をし、措置を講じたのでしょうか。

答 外国人向けに、作品とガイドアプリのPR動画を作成し、立川駅北口の大型ビジョンで放映するなどしています。また、ファールアートの街区一帯を美術館に見立てたイベントを、次年度以降も継続したいと考えます。作品の毀損防止については、所管課の職員等が見回りを行っています。が、今回の件は、警察へ被害届を提出するとともに、プレスリリースなどで市民や来街者に作品保全への理解と協力を呼びかけています。

柴崎町の学童保育所の待機児解消を

学童保育所の新設を検討

安東 太郎（たちかわ自民党・安進会）



問 一、二の学童は定員が66名で、1、2年生でほぼ満員です。この間の冬休みにはPTA等の保護者による子どもの見守り「しほっこ☆クラブ」が行われ、また平成29年度はサマー学童を実施とのことですが、根本的な解決は難しい状況と考えます。空き家、空き店舗などの活用とともに都用地や民間も含め、地域の問題として連携し前向きに進めていただきたい。また、学童保育所を取り巻く状況について、どのように考えているのでしょうか。

答 学童保育所の待機児解消には、学童保育所の整備が一番と考えますが、一、二は空き教室の見込みがなく二小のような放課後ルームの実施も難しい状況であり、平成29年度はサマー学童を開設予定です。制度上6年生まで入所可となり、従前のキャパシティでは対応が難しいですが、今後学童保育所新設に向け、空き店舗等を採りつつ他の制度も活用しながら、児童の安全確保に努めるなどの対応を精力的に行っていきたいと考えています。

泉・柴崎市民体育館でダンス等の個人利用を

29年4月から試行実施

木原 宏（たちかわ自民党・安進会）



問 昨年9月の一般質問の中で、泉・柴崎市民体育館でダンスや武道、ストリートパフォーマンスなどの個人利用ができるようにならないか伺いました。検討することをお答えでしたが、その後の状況をお示しください。また、今までは利用できなかった種目で、新たに個人利用ができるようになった場合、利用者への周知が重要と考えますが、どのように考えているのでしょうか。ぜひ、広く周知するよういろいろ工夫をしていただきたい。

答 平成28年第3回定例会の一般質問で、議員よりダンスや武道、ストリートパフォーマンスなどの種目の個人利用を検討してどうかとのご提案がありました。その後、泉市民体育館、柴崎市民体育館の指定管理者と話し合いを持ち、29年4月から試行的に実施することになりました。これらの内容については、市のホームページ、広報、両体育館のホームページや、体育館の中にポスターを掲示するなどして周知を図っていきます。

部活動指導員の導入を

前向きに検討したい

大石ふみお（民進党・市民フォーラム）



問 中学校の部活動は、生徒も教員も、自主的、自発的参加によるものとして教育課程外の扱いです。しかし顧問となると、放課後、早朝だけでなく土日とも試合などがあり、教員の長時間労働の大きな要因ともなっています。こうした点を踏まえ、国は平成29年4月から、外部スタッフ単独で指導や引率ができる部活動指導員を置くよう省令を改正しました。この部活動指導員を積極的に活用すべきだと考えますが、見解を伺います。

答 中学校の部活動は、教育課程の効果の高い活動と認識しています。立川だけでなく、ほぼ日本中の中学校で教員が自主的に顧問を担当している現状ではありますが、体育会系、文化系ともに、特に部活動での多忙感が課題となっています。ネットワーク型学校経営システムの中で、外部人材の活用において、学校の要望に対応し切れないのも事実であり、部活動指導員については、前向きに検討します。

投票所入場整理券に期日前投票宣誓書欄の印刷を

平成30年の市議選から実施していきたい

山本 みちよ（公明党）



問 この5年間の人数推移を見ると、期日前投票を行う方は確実に増えています。平成29年度からは、立川タクロスにある窓口サービスセンターの多目的スペースが新たに期日前投票所となります。期日前投票については、これまでも投票所入場整理券に宣誓書署名欄を入れてどうかと提案してきました。平成29年度予算では、この入場整理券に関して計上されていませんが、その後のような協議がされたのか伺います。

答 期日前投票宣誓書欄の投票所入場整理券への印刷は、以前も議員より提案を受け、昨年の参議院議員選挙、東京都知事選挙の終了後、選挙管理委員会へ相談しています。今年の東京都議会議員選挙から実施を検討しましたが、今回は立川タクロスで初めて期日前投票を実施するため、そちらの課題を優先的に進めます。選挙管理委員会でもタクロスの状況を見た上で、平成30年の市議会議員選挙から実施したいと考えています。